

令和元年度 海外インターンシップ報告書

清泉女学院大学 人間学部 文化学科 1年

実習期間	令和元年 9月 9日(月) ~ 9月 13日(金)	5日間
実習企業	YUWA VIETNAM CO.,LTD	
実習地	ベトナム ホーチミン	

1. 実習目的

Chapter1 purpose

この海外インターンシップは、自分を変えられるチャンスではないかと思いました。大学1年生の内から実践的な経験をして、自分の視野を広げたり、能力を高めたりしたいと考えています。海外に行くことで、日本にいただけでは見えなかったことが見えたり、新しい自分に出会えたりと自分の視野を広げていきたいです。そして、現地の方との交流を通して、コミュニケーション力を高めていきたいです。また、私は大学で文化について学んでいるので、日本と海外の文化の違いを多く知りたいと思い、参加しました。

2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

企業名 : YUWA VIETNAM CO.,LTD
設立 : Factory I 2009年2月14日
Factory II 2018年6月1日
社員数 : 1,500名
事業内容 : 小型精密プラスチック金型及び成形

3. 実習日程

Chapter3 schedule

9/9 (月)
・ 成田空港→タンソンニャット空港

9/10 (火)
・ VSIP 事務所訪問
・ DDK ベトナム訪問
・ ユウワベトナム第2工場見学
・ テクノエクセル訪問
・ ユウワベトナム第1工場見学

9/11 (水)
・ ICHIOKA SEIKA VIETNAM 見学
・ ホーチミン工科大学訪問

9/12 (木)

- ・ 清水建設 地下鉄工事現視察
- ・ JETRO ホーチミン事務所訪問
- ・ ショッピング
- ・ さよならパーティー

9/13 (金)

- ・ タンソンニャット空港→成田空港

4. 実習内容

Chapter4 laboratory

・ VSIP 事務所訪問

VSIP とはベトナム・シンガポール工業団地の略称で、海外進出という両国政府の政策が一致したことで開始したプロジェクトです。私たちは、ビンズン省にある VSIP 事務所を訪れました。VSIP が広がるビンズン省は、フランス領時代からプランテーションが行われており、もともとゴム園だった土地に工業団地を開発しました。また、ビンズン省は海拔が高く、地盤が固いので工業団地を開発するには好条件だそうです。最近では、工業化の開発から住宅・商業施設の開発へと変化してきていることをお聞きしました。

・ DDK ベトナム訪問

DDK ベトナムでは主にコネクタを製造しており、付加価値を付けるためにコネクタハーネスの製造も行っています。工場の紹介や見学の他に、ベトナムについての紹介をお聞きしました。

・ ユウワベトナム（第1工場・第2工場）見学

ユウワベトナムは第1工場と第2工場の2つに分かれており、第1工場は恒温室の金型工場で、第2工場はクリーン成形の成形工場になっています。本社である株式会社ユウワと同じように主に小型精密プラスチックの金型設計や成形を行っているようです。ユウワベトナムではとても厳しい精密検査があり、その成績によって給料を上げるといようなシステムがあるので、働いている方々にとって良い刺激になっているのだと思いました。

・ テクノエクセル訪問

テクノエクセルでは主に洗濯機の部品を製造しており、他にも家電機器用電磁石給水弁や圧力センサ、安全スイッチなどを製造しています。部品の原材料は海外調達が78%で現地調達が22%と現地で原材料を手に入れるのは難しい状況にあります。

・ ICHIOKA SEIKA VIETNAM 見学

市岡製菓は徳島県にある製菓会社で、新たな取り組みとして大手企業の半生製菓のお店がないベトナムに、市岡製菓社長の娘である市岡志麻さんが1人で進出しました。中に餡子が入っている日本のどら焼きをそのまま販売するのではなく、中をチョコレートやカスタードなどのクリームにして販売したところ、大人気となったそうです。また、ベトナムに来て苦労したことや魅力もお聞きしました。

・ ホーチミン工科大学訪問

ベトナムの学生とスピーチ交換や交流を行いました。交流の際には日本のお菓子をプレゼントしたり、一緒に折り紙を折ったりしました。中には日本語を話せるベトナムの学生がおり、日本語で話しかけてくれました。また、一緒に写真を撮ったり、SNSを交換したりと楽しい時間を過ごすことができました。

・ 清水建設 地下鉄工事現視察

清水建設は来年 2020 年の開通を目標に、地下鉄の工事を行っています。日本では地下鉄が多いため地下 40 メートルほどのところを掘っていますが、ベトナム初の地下鉄ということで地下 25 メートルほどの浅いところを掘っています。現在、工事はマニュアル運転で行っており、まだ技術的に難しいが自動運転で行いたいとお聞きしました。

・ JETRO ホーチミン事務所訪問

JETRO ホーチミン事務所では日本企業のベトナム進出のサポートを行っています。ベトナムの経済環境や今後の展望についてのお話がありました。ベトナムでは夫婦共働きが当たり前で、国民の 40%が農民で 30%が中小企業に勤めているそうです。また、ホーチミンやハノイなどの都市では工業団地が一杯いっぱい、今後は田舎のほうに企業が進出する可能性があるとお聞きしました。

5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

- ・ ベトナムのホーチミンは自分が思っていたよりも都会で、混沌としていました。
- ・ 来年 2020 年にはホーチミン市にベトナム初の地下鉄が開通する予定であり、これを機にベトナム人の交通状況が大きく変化する可能性があると感じました。
- ・ 日系企業の皆様や現地の方々のお話を聞いたり、関わったりした中で、日本とベトナムの文化の違いを多く感じることができました。
- ・ 仕事に対する考え方について、日本では「残業したくない」「早く帰りたい」という人が多い傾向にあるが、ベトナムでは残業したいという人が多く、残業させてくれないと仕事を辞めてしまうことがあるようで、働き方の違いを知ることができました。
- ・ 多くの日本企業がベトナムで活躍する姿を実際に見て、日本の素晴らしさを感じ、誇りに思いました。

6. 今後の課題

Chapter6 problem

- ・ ベトナムの学生の中には 3 か国語を話せる人がおり、各国の言語、特に英語を積極的に学び、将来の仕事に役立てていきたいです。
- ・ 県内で就職することばかり考えていたが、ベトナムの学生の多くがグローバルな視野を持っており、もっと世界に目を向けていきたいと思いました。
- ・ 様々な企業を訪問することが多く、社会の中での立ち振る舞いやマナーをこれからしっかり学んでいきたいです。

7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

私はこの海外インターンシップに参加し、自分の小ささを痛感しました。そして、世界の広さを感じました。私はまだ大学1年生ですが、とても貴重な経験をさせていただきました。早いうちから様々なことに挑戦するのは良いことだと思っています。行く前と行った後では、きっと自分の中の「何か」が変わってくるでしょう。参加する際には、訪問させていただく企業について調べるのはもちろんのこと、是非その国の文化や歴史についても調べると、学び甲斐のあるインターンシップになると思います。日本を飛び出して、自分を変えに行きましょう！

8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

この度は海外インターンシップに参加させていただき、ありがとうございました。
ユウワベトナム社長の飯高真一様を始め、株式会社ユウワ本社見学から様々な面でサポートして下さった井出有咲様と山之上夏希様、そして、現地の社員の皆様、訪問させていただいた日系企業の皆様など、この海外インターンシップに関わって下さった全ての方々に心より感謝申し上げます。
皆様のおかげで、大変充実した5日間となりました。この経験を日々の学業やこれからの就職活動に活かしていきたいと思えます。